

NO.2



新庁舎建設工事進捗状況

山留め工事(地盤の補強)の様子

掘削工事を始める前に、山留め工事を行いました。

山留め工事とは、掘削工事を行う際に地盤が崩壊するのを防止するために行うものです。

オーガという重機で穴を掘り(写真左上)、その穴にH鋼(親杭)と呼ばれる鉄の柱を打ち込みます(写真右上)。後は、掘削をしながら矢板と呼ばれる木製の板をH鋼の溝にはめていくことで地盤が崩れたいないように補強することができます。



地下部掘削&横矢板工法の様子

前述のとおり、掘削工事を行う際に周りの地盤が崩れないよう、矢板と呼ばれる木製の板で補強をしています。

掘削は、地上からおよそ6メートルの深さまで行いました。

掘削工事が終了した後、地下部の工事に入ります。



工事中、工事車両等の出入りにご注意ください。

発行：建設課庁舎整備係 TEL0136-44-2121 / 発行日：令和元年(2019年)8月30日